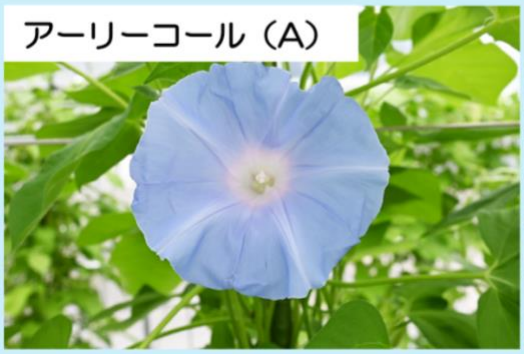
こんな花が咲きます

お配りした容器には、３種類のアサガオの種が１つずつ入っています。種子に刻んであるアルファベットで、品種がわかります。来年育てるのであれば、種子は常温保存で大丈夫です。まきどきは来年の５月中旬～６月ごろですので、今からカレンダーに入れておきましょう！

赤い花、どちらか1つ

青い花、どちらか1つ



少し珍しい花、どれか1つ

アサガオの育て方

【種子まき】
５月中旬～６月ごろがまきどきです。
小さなポットや、底に穴をあけた紙コップに土を入れ、1cm くらいの深さに種子をまきましょう。
たっぷり水をあげると数日で芽が出ます。

👉 いきなり大きな鉢やプランターにまいても育ちますが、芽が出ないと土が無駄になるので、まずは小さな容器で育てるのがおすすめです。

【植えかえ】
芽が出て葉が大きくなったら、鉢（6～8 号）やプランターに植えかえます。
つるが伸びるので、支柱やネットを立ててあげましょう。

👉 ベランダでは、床の熱で土が暑くなりアサガオが弱ることがあります。鉢やプランターを脚つきのものにするか、台の上に置くと安心です。

【植えかえ後の育て方】
日当たりのよい場所で育てましょう。
土の表面が乾いたら、鉢の底から流れ出るくらいたっぷり水をあげます。
液体肥料をときどき与えると、花がたくさん咲きます。
花が終わると種ができます。種をとれば、来年またまけます。

【水やりの目安】
種をまいてから発芽までは１日２回。
６月までは１日１回。
７月～９月上旬は１日２回
その後は１日１回。

👉 アサガオは、水のやりすぎで失敗することはあまりありません。ただし、夜に土がびしょびしょのままだと茎がひょろひょろ伸びやすくなるので、あまり遅い時間の水やりは避けましょう。

詳しい育て方や種の取り方は、九州大学のウェブサイトをご覧ください。
▶アサガオホームページ：http://mg.biology.kyushu-u.ac.jp/hort-cultivation.php

配布した種子について

自然科学研究機構・基礎生物学研究所では、九州大学と共同で、アサガオの保存と提供を「ナショナルバイオリソースプロジェクト（NBRP）」という国家事業として進めています。近い仲間の植物も含めて、3,500 以上の系統を集めており、現在と未来の研究者が使える研究環境を整える事業です。今回お配りしている種子は、この NBRP で生じた余剰な種子です。
▶ナショナルバイオリソースプロジェクト：https://nbrp.jp/

傷	系統番号	系統名	表現型（葉の色・形、花の色・模様・形）、URL
A	AKX242	アーリーコール	青蜻蛉水色覆輪 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001900
E	AK195	越天楽	青斑入蝉葉紅縞 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001950
G	AK192	暁光	黄蝉葉紅覆輪 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001920
K	AK109	くすみちどり Pr	青斑入並葉姫薄紫丸咲 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001090
O	AK117	柴の折戸	黄斑入蝉葉黒鳩縞丸咲大輪 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001170
P	AK101	桔梗紫	青桔梗渦紫桔梗咲 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001010
S	AK185	青雲	青斑入蝉葉濃水浅葱色筒白（陽光抜）多曜咲大輪 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001850
W	AK102	桔梗白	青桔梗渦白桔梗咲 https://shigen.nig.ac.jp/asagao/ViewStrainDetail.do?id=2001020

＊アーリーコールは、複数の品種の総称になっています。お配りしているアーリーコールは AK190 と同じか、とても近い品種です。

【種子の傷】
アサガオの種子は硬い皮に包まれていて、水を吸いにくく、発芽に失敗することがあります。
今回配布している種子はレーザーでアルファベットを刻んで、水を吸いやすくしてあるので、そのままいても大丈夫です。
市販のアサガオの種子は、薬品を使って水を吸いやすくしてあります。
自分で採った種子を次の年にまくときは、硬い殻に小さく傷をつける（やすりで軽く削るなど）と発芽しやすくなります。

【種子の保存】
そのまま常温で置いておいても 3～4 年は芽が出ます。
長く保存したいときは、乾燥剤（シリカゲル）といっしょに、しっかりフタのできる入れ物（タッパーや茶筒、ジップロック袋など）に入れて、冷蔵庫にしまいましょう。